

南会津 のうりん ニュース



今号の写真：南泉寺

着任の御挨拶



目次

人事異動のお知らせ

トピックス

令和8年度南会津地方防霜対策本部を設置しました／令和8年度南会津ふるさとワークステイ事業の募集を開始しました／令和7年度教育旅行受入農家座談会を開催しました／令和8年度南郷トマト育苗視察／令和8年度森林保全巡視員を委嘱しました

農林事務所からのお知らせ

令和8年春の農作業安全運動実施中！！／屋外での火の取り扱いにご注意ください～山火事を起こすも防ぐも私たち～／4月は施設管理強化月間です！／令和8年度アスパラ塾開催日決定！！／安全安心な野生山菜の流通に御協力ください

コラム

- ・キラリと光る南会津の6次化商品～南郷トマトプリン((株)食農価値創造研究舎(南会津町))～
- ・南会津の仕事、のぞいてみました！
【合同会社ねっか 脇坂颯さん・斉弘さん】

第230号(令和8年4月24日発行) 福島県南会津農林事務所

着任の御挨拶

4月1日付けで南会津農林事務所長に着任いたしました宗像 宏行と申します。

南会津地域の農林業者の皆様、関係機関・団体の皆様には、日頃より地域の農林業振興に御尽力をいただき、感謝申し上げます。

さて、福島県では、令和4年度から令和12年度までの9年間を計画期間とする、「福島県農林水産業振興計画」を策定し、本県農林水産業や農山漁村の更なる発展のために、『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村』を基本目標として定めております。

南会津地方においても、「活力ある農林業と人の交流が織りなす、輝く南会津」をスローガンに、以下の3つの振興方向を掲げ、振興計画の実現に向けた取り組みを進めているところです。

①「農林業の持続的な発展を支える基盤の強化」

関係団体等と連携し、ほ場の大区画化や汎用化、農業水利施設や林道の整備等を進めるとともに、担い手への農地集積や高収益型作物の導入により所得の向上を図ります。

②「安全で魅力的な農林産物の供給」

GAP取得を促進し、さらなる信頼確保とブランド力の強化を図ります。また、ICT等の先端技術の導入により産地の維持・発展を図ります。

③「活力と魅力ある農山村の実現」

集落ぐるみの鳥獣被害対策の支援、適正な森林整備の推進や地域産業6次化、教育旅行の誘致等を推進します。

今年度につきましては、昨年度に講じた各種施策の進捗や成果について点検・確認を行いながら、関係機関・団体等の皆様とより一層連携を図り、現場の状況を踏まえた施策をきめ細やかに展開してまいります。

これからも地域の皆様の声を大切にしながら、職員一同、さらに魅力的で笑顔あふれる南会津地方を目指してまいりますので、引き続き御理解、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。



(所長 宗像 宏行)

人事異動のお知らせ

| 転入者（カッコ内は旧所属等です） | |
|------------------|---|
| ○所長 | 宗像宏行(生産流通総室) |
| ○次長 | 高澤次郎(南会津地方振興局) |
| ○総務部 | 渡辺真紀夫(森林林業総室)、中野紘成(病院局)、菊地健太(新採用) |
| ○企画部 | 井出忠行(農林水産総室)、佐々木稜(産業振興総室)、星幸博(新採用) |
| ○農業振興普及部 | 橋本伝示(県中農林事務所須賀川農業普及所)、円谷聡(相双農林事務所双葉農業普及所)、寺崎弘之(会津農林事務所)、菅野乃愛(こども未来局)、大河原啓吾(教育庁教育総務総室)、安田康二(農業総合センター農業短期大学校)、伊藤恵造(会津農林事務所) |
| ○農村整備部 | 岡田拓也(相双農林事務所)、保坂舞(会津農林事務所)、佐藤智裕(農村整備総室)、大堀一人(いわき農林事務所)、小野寺舜(相双農林事務所) |
| ○森林林業部 | 遠藤賢治(相双農林事務所)、水野俊一(森林林業総室)、小泉匡平(森林林業総室)、成井伸司(森林林業総室)、田崎実(県中農林事務所)、衛藤和希(教育庁教育総務総室) |

| 転出者（カッコ内は転出先です） | |
|-----------------|--|
| ○所長 | 馬場岳志(会津農林事務所) |
| ○次長 | 菊田嘉重(監査委員事務局) |
| ○総務部 | 小澤創(県北農林事務所)、橋本卓(内閣府派遣)、伊藤聖也(文書管財総室[公立大学法人会津大学派遣]) |
| ○企画部 | 吉田安宏(生産流通総室)、市川高嶺(福島国際研究教育機構(F-REI)派遣)、金澤優衣(文書管財総室[公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター派遣]) |
| ○農業振興普及部 | 柳沼浩(農業総合センター農業短期大学校)、小林祐一(県中農林事務所)、佐藤光洋(会津農林事務所)、笹川菜々子(生活環境総室)、荒井祐人(会津保健福祉事務所)、二瓶友瑠(農業支援総室)、星保宜(会津農林事務所) |
| ○農村整備部 | 佐藤勝弘(会津農林事務所)、佐藤良平(農村整備総室)、長岡学(財務総室) |
| ○森林林業部 | 高橋健二(相双農林事務所)、高橋由英(森林林業総室)、芳賀亮汰(相双農林事務所)、小檜山敦(会津農林事務所)、進洋岐(森林林業総室) |

トピックス

＼ 令和8年度南会津地方防霜対策本部を設置しました ／

当事務所では、4月1日から5月31日まで「南会津地方防霜対策本部」を設置し、関係機関と連携して防霜対策技術などの情報提供を行っています。次のような気象条件の時には凍霜害が発生しやすくなります。

○降雨後に肌寒い北寄りの風が吹いている。

○夕方になって風が止んだ。

○夜になって晴れ上がり、雲がなく底冷えする。

凍霜害が心配される際は被覆資材・燃焼資材等を活用して対策に努めましょう。

当事務所といたしましては、関係機関と連携して霜害の未然防止と被害が発生してしまった場合の事後対応に取り組んでまいります。

※作物別凍霜害及び雹害技術対策 ※霜と気温の見通し(気象庁ホームページ)



南会津地方防霜対策本部設置
(4月1日、県南会津合同庁舎にて)

(農業振興普及部)

＼令和8年度南会津ふるさとワークステイ事業の募集を開始しました／

当事務所では新規就農者の確保や都市居住者等と農林業者との交流を促進することを目的として南会津ふるさとワークステイ事業を実施しています。

農作業や農村への滞在を希望されている方が農作業を行う「現地での農作業体験」、オンラインで南会津地域の農家との懇談の機会等を提供する「オンラインでの体験」の2種類体験可能です。中でも、「現地での農作業体験」は、旅費支援の希望の有無等により、3つのコースから選択いただけます。



昨年度のワークステイの様子

また、両体験とも当事務所や各町村担当者との就農や移住の相談、空き家見学を併せて行うことが可能です。

詳しい内容は当事務所企画部のホームページに掲載しておりますので、当地方での就農に興味ある方等に御紹介ください！たくさんの御参加をお待ちしております！

あわせて、当事業の受入農家を募集しています。事業の詳細についてご説明しますので、企画部(0241-62-5252)まで御連絡ください。

(企画部)

＼令和7年度教育旅行受入農家座談会を開催しました／

3月9日に、教育旅行生を受け入れている南会津管内の農家民宿経営者等を対象とした令和7年度教育旅行生受入農家座談会を開催しました。

当日は、令和7年度に受け入れた教育旅行で提供した体験内容やその感想についての情報交換、食事にまつわるワークショップとしてこれまでに提供してきた食事の内容について共有を行いました。

また、受入体制の強化に向けた取組や、受入農家の負担を軽減するための方法についても意見交換を行いました。

本座談会でいただいた意見を基に、今後も当事務所では教育旅行の受入者数増加に向けた各種取組を進めてまいります。

農家民宿の経営に興味のある方は、当事務所企画部(0241-62-5252)までお気軽に御相談ください。



座談会の様子

【農家民宿とは？】

農家民宿とは、農林漁業体験民宿業の呼称で、「施設を設けて人を宿泊させ、農林水産省令で定める農村滞在型余暇活動又は山村・漁村滞在型余暇活動に必要な役務を提供する営業をいう。」と定義されています。

旅館業法上の「簡易宿所」の営業許可が取りやすくなっているほか、建築基準法や消防法等の規制緩和が適用され、新規開設しやすくなっています。

さらに、平成28年からは農林漁業者以外の者であっても農家民宿を開設することが可能となりました。

是非、農家民宿をはじめませんか？

新規開設の御相談は、当事務所企画部(0241-62-5252)まで御連絡ください。

(企画部)

＼令和8年度南郷トマト育苗視察／

4月14日、今年度の南郷トマト育苗視察が行われ、いよいよ今年の南郷トマト作りが本格始動しました。

南郷トマトの共同育苗は、苗の品質を揃え、作業を効率化するだけでなく、大切な技術を次世代に繋ぐ役割も担っています。今年は4月9日に播種を行い、13日に育苗ハウスへ入庫されました。台木・穂木ともに発芽は順調で、4月下旬から5月上旬には生産者の皆さんのもとへ配布されます。

当日は関係者31名が集まり、育苗の状況を確認するとともに、今年度の目標である出荷数量65万ケース、販売額13億円の達成に向けて「チーム南郷」の結束を再確認し、シーズン開幕にふさわしい活気ある視察となりました。



育苗視察の様子(説明者:新國副組合会長)

(農業振興普及部)

＼令和8年度森林保全巡視員を委嘱しました／

4月1日、当事務所内において、令和8年度に森林パトロールを行っていただく8名の森林保全巡視員へ宗像所長から辞令を交付しました。

辞令交付に引き続き森林保全巡視員会議を開催し、巡視の方法やポイントを説明するとともに、意見交換を行いました。

8名の森林保全巡視員は、今年11月までの8か月間、南会津地域の保安林や県営林の巡視を行い、入山者に対する山火事予防の啓発、無許可の伐採や森林被害等の有無の確認などの活動を行います。



委嘱状交付式の様子

(森林林業部)

—令和8年春の農作業安全運動実施中！！—

県では、3月1日から5月31日までを春の「農作業安全運動重点推進期間」としています。

春は、農業用機械を利用する機会が多くなり、農作業事故が発生しやすくなります。トラクターによる死亡事故のうち転落・転倒による原因が8割、そのうち転落・転倒後に下敷きとなるケースが約6割を占めます。

トラクターで作業する際は、次のポイントを守り、安全・安心な農作業を実践しましょう。

- ①作業前における機械の点検・整備および周辺環境の確認はしっかり行いましょう！
- ②可倒式安全フレームは運転時には必ず立てて使用しましょう！
- ③シートベルト、ヘルメットは必ず着用しましょう！
- ④作業時以外は左右独立ブレーキを連結しましょう！
- ⑤機械点検・清掃時はエンジンを止めましょう！



また、熱中症による死亡者の割合も増加しています。

暑さの感じ方は人により異なり、高齢の方は特に注意が必要です。

水分補給や暑熱対策グッズを積極的に活用し、熱中症対策を十分に行いましょう！

(農業振興普及部)

— 屋外での火の取り扱いに御注意ください～山火事を起こすも防ぐも私たち～ —

空気が乾燥し山火事が起こりやすい季節となりました。

近年は全国各地で大規模な山火事が発生し、一たび山火事が発生し燃え広がると、広大な森林の焼失や、時には人命の被害も発生しています。

山火事の原因のほとんどは、たき火などの人為的な要因によるものです。

今年の全国山火事予防運動の統一標語「山火事を起こすも防ぐも私たち」を心に留め、私たち一人ひとりが次のことに注意して、山火事予防に取り組みましょう。

- (1) 林野火災注意報、林野火災警報の発令時など乾燥・強風時には、屋外での火の使用をしないこと。
- (2) 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと。
- (3) たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること。
- (4) 火入れを行う際は市町村長の許可を必ず受けるとともに、あらかじめ必要な防火設備を準備すること。
- (5) たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと。
- (6) 火遊びはしないこと、また、させないこと。



令和8年山火事予防ポスター

(森林林業部)

— 4月は施設管理強化月間です！ —

福島県では、作付けに向けて農業水利施設の使用を再開する毎年4月を「施設管理強化月間」として位置づけております。

今シーズンは、昨年より降雪は少なかったものの、雪融けに伴い農業水利施設の破損などが判明することも想定されます。

まだ残雪の多いところもあり、野生動物の活動も活発になる時期ですので、農家の皆様におかれましては、施設の点検に当たり十分に注意していただくとともに、施設に異常が認められた際にはお住まいの町の担当部署に御連絡ください。

また、農林事務所でも、農村整備部を主体として、各町の担当課と合同で主な施設の点検・診断を実施し、異常の早期発見や長寿命化に役立てていく予定です。

(農村整備部)

— 令和8年度アスパラ塾開催日決定！！ —

今年度の「アスパラ塾」は、5月30日に、第1回目を開催します。

「アスパラ塾」は、これからアスパラガスを栽培し、市場や直売所などへ出荷したい、販売したい方を対象に行っています。

アスパラガスは、当地域の特産物で、非常に高い評価を得ていますが、生産量が少なく市場や直売所では足りない状況が続いています。

「アスパラ塾」では、アスパラガスはどんな作物なのか？栽培方法は？を中心に、加えて当地域でアスパラガス栽培に当たっての支援体制などを学ぶ内容となっています。

年5回の開催を予定しています。農業経験の有無や年齢等は問いません！！

アスパラガスを栽培してみたい方、皆様の御参加をお待ちしております。

第1回 令和8年5月30日(土)10時から12時
会津よつば農業協同組合田島支店2階会議室
アスパラガスの生理生態と栽培管理、アスパラガスでの就農事例、
南会津地方で就農する際の研修受入体制など

第2回 令和8年6月20日(土)

第3回 令和8年8月1日(土)

第4回 令和8年10月31日(土)

第5回 令和8年11月28日(土)

※2回目以降の詳細は、今後お知らせします。

講座には、第2回以降の途中からの参加も可能です。

申し込み、問い合わせは、南会津農林事務所農業振興普及部経営支援課(TEL 0241-62-5264)

JA会津よつば田島営農経済センター営農課(TEL 0241-63-1172)

(農業振興普及部)

— 安全安心な野生山菜の流通に御協力ください —

雪深かった南会津地方も4月になり、春の山菜の季節を迎えています。

東日本大震災と東京電力福島第一発電所の事故の発生から15年が経過し、当地方でも野生きのこのうち、只見町のなめこや下郷町のむきたけ等、出荷制限の解除が進んだ一方で、春の山菜であるこしあぶらは、下郷町、只見町、南会津町で出荷が制限されています。

この3町で採ったこしあぶらを、販売したり、知人へのおすそ分け、宿泊施設等での提供、加工品の原料としての使用などはしないでください。

また、野生のわらび、ぜんまい、たらのめ、こしあぶら(檜枝岐村のものに限る)、たけのこは、出荷前にモニタリング検査を実施しています。

農林事務所では、引き続き安全安心な野生山菜等の流通を図ってまいりますので、生産者の皆さまの御協力をお願いいたします。

御不明な点がありましたら森林林業部林業課(0241-62-5375)までお問合せください。



福島県の出荷制限状況について
◀ 福島県ホームページ(きのこ、山菜類の出荷制限品目・市町村について)

(森林林業部)

コラム

キラリと光る南会津の6次化商品 ～南郷トマトプリン(株)食農価値創造研究舎(南会津町)～

今回御紹介するのは、南会津町にある(株)食農価値創造研究舎が販売する「南郷トマトプリン」です。地域ブランドとして高い評価を受ける、GI認証の「南郷トマト」を贅沢に使用しています。

昼夜の寒暖差が大きい南会津の気候で育った南郷トマトは、濃厚な甘みとほどよい酸味、みずみずしさが特徴です。その魅力を生かし、南郷トマト本来の風味をプリンに優しく閉じ込めました。

ひと口食べると、なめらかな口当たりの中に、南郷トマトの爽やかな香りと自然な甘さが広がります。後味はすっきりとしており、一般的なプリンとはひと味違う、新感覚の味わいを楽しめます。トマトが苦手な方でも食べやすく、デザートとしてはもちろん、お土産や贈り物にもおすすめです。

道の駅きらら289や、オンラインショップで販売中です。南会津の自然と生産者のこだわりが詰まった「南郷トマトプリン」、ぜひ御賞味ください。



【(株)食農価値創造研究舎】
南会津町山口字村上812

☎ 0241-71-8688

HP <https://syokunouken.jp/>



南会津の仕事、のぞいてみました！【合同会社ねっか 脇坂颯さん・斉弘さん】

合同会社ねっかは、只見町で2016年に創業し、地元の米を使用した米焼酎を製造しています。2025年に開催されたミラノ酒チャレンジでは、「ばがねっか」「奥会津ねっか」が最高賞である、マニフィカ賞を受賞しました。今回は、ねっかの従業員として働く脇坂颯(わさざか はやて)さん、そして代表社員の脇坂斉弘(わさざか よしひろ)さんにお話を伺いました。

【脇坂 颯さん】

○普段の業務内容を教えてください

焼酎の仕込みや蒸留を担当しています。蒸留は気温によって左右され、最終的な香りにかかわってくるので、ずっと監視する必要があります。福島県酒造組合が運営する清酒アカデミーに通っていてお酒については勉強中なのですが、まだまだ分からないことだらけです(笑)。他には、弊社が瓶のオーダーメイドを受けているので、その加工やデザインを担当しています。

○なぜ南会津での仕事を選んだのでしょうか？

高校生まで南会津で過ごし、高校の時にはねっかでアルバイトしていたのですが、大学進学を機に他の道を探そうと思い、全く関係のない埼玉県の経済学部へ進学しました。ただ、向こうでウイスキーにハマってしまって、自分で作りたと思うようになったのですが、今って新興のウイスキー蒸留所だと新規の採用が無く、どうしようかなと考えていた時に、ねっかでウイスキーを作り始めると聞いたので、南会津に戻ってきました。

○仕事をする上でのやりがいや大変なことは何ですか？

大変なところは、相手が菌なので、思い通りにならないことです。どうしてそうなるのか分からなかったり、生き物相手だからこそその難しさがあります。気温・水温によっても変わってくるので、菌の扱いの試行錯誤が大変です。

ただ、イベントに出店した際に、初めてうちのお酒を飲んでくれた人から「これ美味しい！」と言ってもらった時は、嬉しかったです。

○日常生活、休日の過ごし方について教えてください。

普段は家でゲームをしたりしていますが、夏場は、自転車が好きなのでロードバイクに乗ったりしています。去年は友達を呼んで、田子倉湖に行ってきました。冬場は、やっぱりスキーですね。南会津にはスキー場が4つありますが、南郷スキー場によく行きます。

○南会津で生活することの魅力は何でしょうか？

自分は、東京で感じるにおいと満員電車が苦手なので、南会津のように開けていて、自然がたくさんあるところが好きです。あと、田舎なので近所の人同士の繋がりが強いところだと思います。ただ、夜間はバスとかタクシーとか交通手段が無くなってしまうので、お酒を飲んでから帰れないのが辛いかもしれません。自分が良く行く居酒屋は家まで送ってくれたりするので、とてもありがたいです(笑)。

【(代表社員)脇坂 斉弘さん】

○今後南会津への移住者が増えてきたとして、どういう方と一緒に働きたいでしょうか？

仕事だけではなくて、南会津ならではの生活を一緒に楽しめる人たちに来てほしいと思います。釣りとかスキーとか、色んな遊びがあるはずなので、是非、移住を検討する人たちには、この地域ならではの遊びに気づいてもらえれば。

酒造りの期間は仕込みの工程によって出勤時間も変わるため、寒い時間帯に集中して作業をすることもあります。そこで、早出で仕事を進めて中抜けの時間をつくり、スキーや除雪など、それぞれが自分の時間を使えるような働き方も社内で提案しています。仕事が軸にあることは変わりませんが、その中にこの地域ならではの楽しみがある。せっかく南会津にいるのであれば、ならではの遊びをしてほしいですし、若い人の方が、南会津で生活しやすいと思っているので、まずは我々が楽しそうに生活し、それに憧れた人がこの地域に来てくれることが大事だと思っています。



脇坂颯さん・斉弘さん

颯さん、斉弘さん、お忙しい中ありがとうございました。

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

☎ 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>

